



CLUB OFFICE
京都YMCA 三条本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE Y'S MEN'S CLUB OF

Kyoto Prince

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

2019

11

Bulletin

2019.11.1発行

第34巻第5号通巻407月

主題

国際会長 はい、私たちは変えることができる
アジア会長 アクション
西日本区理事 風となれ、ひかりとなれ
京都部部長 限界を超えろ

"Yes we can change"

"Action"

こころ豊かにあるために 輝くために

"Y's Power? No limit!"

聖句

キリストは、神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず、かえって自分を無にして、僕(しもべ)の身分になり、人間と同じ者になられました。

フィリピの信徒への手紙 2章6節



「プリンスクラブ35周年に向けて」

第30・31代元会長 蒔田 茂夫

2012年12月5日…私がプリンスクラブに入会した日です。

メンバー候補として例会に参加させていただいているときから、メンバーの皆様は非常にあたたかく接していただきすぐに打ち解けられたことを思い出します。

クラブライフを楽しんでいた3年目に会長をさせていただきました。貴重な経験をたくさんさせていただいた1年と思いきや、事情で2期にわたり会長を務めさせていただきました。

何ととっても印象深い思い出は、一度目の会長期ではアジア地区大会、二度目の会長期では京都部会です。いずれもワイズって本当に凄いと感心した出来事でした。マーシャル委員として参加したアジア地区大会は、アジアはもとより世界中のワイズメンとの交流を体験できました。ホストクラブとして迎えた京都部会は、プリンスクラブの本気のパワーを感じました。いずれの経験もわたしのかけがえのない心の財産です。アジア地区大会、京都部会それぞれが終わったあと寂しい気持ちになったことを良く覚えています。

35周年を迎えるプリンスクラブに期待することは、継承と改革の先にある発展です。クラブ設立から今日に至るまでメンバーが脈々と繋いできた規律の中にあるプリンスクラブらしさを、継承しつつ今の世の中に沿うように改革を進める。そしてプリンスクラブにたくさんのメンバーが、笑顔で集い活気のある場所となり発展していけたらと思います。まさに今期の小野会長の主題「守るために変えてゆこう、すこしづつ」ということに繋がると考えます。

クラブ設立当時は確かバブル景気の頃、のちバブルは崩壊。混沌とした社会情勢の中、時代は平成から令和へ。どんな未来がやってくるのかはわかりませんが、プリンスクラブから頂いた心の財産を、ずっと守っていくためにも良き方向へ改革が進めばと思います。ベテランメンバーの経験してこられたことや若手メンバーの行動力や新しいアイデアが融合させより良いクラブに発展していきましょう。

会長主題

**守るために
変えてゆこう
少しづつ**

会長	小野 敏明
副会長	廣井 武司
	今西 英隆
書記	岸 裕也
会計	飯尾 豊
ネット会長	小野 瑞穂

強調月間

Public Relations
Wellness

11月 例会案内

6日(水) 通常例会

牧野西日本区EMC事業主任をお迎えして、会員増強の秘策を伺う。

20日(水) 通常例会

今期の会長主題に沿って新設されたフレンドシップ例会。第2回目です。

例会出席

10月第一	13名
10月第二	13名
在籍者数	16名
メーキャップ	0名
出席率	93.8%

BFポイント

切手	0pt
現金	0円
果計	0円

ファンド

	0円
	0円
果計	161,050円

ニコニコ

10月第一例会	0円
10月第二例会	0円
果計	12,000円

10月第一例会

部長公式訪問

2019/10/2
森 伸二郎

790回目の例会は、部長公式訪問。島田京都部部長と二人の随行事業主査そして13人のメンバーが出席して開催。定刻午後7時の開会点で始まり、京都ウエストクラブ奥田英詔ワイズのワイズデーアピールがあり、中華の食事をいただきました。

まず京都洛中クラブ竹山直司国際・交流事業主査のスピーチ。入会から5年間のご自分のワイズライフを披露され、その中で富士山五合目での富士山例会に参加した時に、岡西ワイズやサンライズクラブのメンバーと出会ったことを話され、なんと言ってもワイズの醍醐味は、人との出会いにあるという話をされました。

続いて京都ウイングクラブ北川雅俊Yサ・ユース事業主査。YMCAのキャンペリーダーをされていた話をされ、サバエキャンプ場で培われたYMCAのキャンプ事業は、無くしたくない思いを語られました。

そして最後に、京都ウエストクラブ島田博司京都部部長のスピーチ。クラブの発展には、①将来のビジョンを持つこと、②メンバーを20名以上にすること、③外向きの攻めの広報をすることの3点を挙げられました。今期の部長公式訪問では、真剣にワイズメンズクラブの将来を考えておられる事が伝わってきて、今後のワイズ活動に希望を感じることが出来ました。

その後の質疑応答では、ギネスにチャレンジというワイズデーへの関わり方の不安感から次々と質問が出て、その結果、ワイズデーへどのように参加すればいいのかのイメージが出来上がりました。



10月第二例会

ワイズデー

2019/10/27
小野 敏明

プリンスクラブ第791回10月第二例会は、京都部主催のワイズデーに参加。今期のワイズデーは、島田京都部部長肝入りのビックイベント【ギネスレコードに挑戦！来たれ1,000人越えのチャレンジャー】と題し、三条商店街を舞台にギネス記録への挑戦イベントと、各クラブの地域奉仕事業先様の屋台を出店。プリンスクラブとしては、関西盲導犬協会様に参加頂き、グッズ販売及び寄付、事業内容の広報にワイズデーを活用して頂いた。

メインイベントのギネスレコードへの挑戦の内容は「参加者同士が一斉にTシャツにサインをしあい、その人数で世界記録に挑戦」。具体的なルールは、整列し、隣の人のTシャツ背面に自分の名前を漢字と平仮名で併記し、日付を含め1分間でサインする。正確に書くことが条件で、これまでは国内で記録された「918人」が最多だった。商店街には10～80代の約千人が集まり、ギネス公式認定員の合図とともに、勢いよく書き始めた。互いに書きやすいよう、姿勢を低くするなどの工夫を凝らしていた。記録をわずか1人上回る「919人」との結果に、参加者は大きな歓声を上げて喜んだ。

さかのぼること今年の3月、次期役員会研修会時に、島田部長から計画内容の説明を頂いた時は、冗談にしか受け取れなかった今回の挑戦。計画の是非や、賛否を跳ね除け、約1年間の準備の末に大成功を達成された部長を始め、実行委員長、並びに部役員の方々のご尽力に感謝いたします。並びに、今回の企画に対して是非を問わず協力いただいたプリンスクラブのメンバー、ご家族に対して心より感謝申し上げます。

近年「ワイズデー」のイベントが巨大化する傾向にある事は気になりますが、京都部をあげてワイズメンズクラブを広く世間にアピールし、さらにクラブの垣根を越えた一体感、成功体験を共有する場を設けている事が、部全体の会員増強(半期だけで約50名増)に繋がっている可能性は否定できないかもしれない。ただ、否定的な意見があることも事実であり、来期以降の計画に関しては議論が必要である事は明白。最後に、ワイズメンズクラブ全体の発展に寄与できるようなワイズデーが、今後も開催され続ける事を祈念いたします。



中津川かしもファミリーキャンプ

2019/10/5~6

田中 邦昭

主催・京都YMCA、共催・聴覚障害児プログラム研究会マイマイ、同京都プリンスワイズメンズクラブにて開催されました。参加児童は女子5名男子1名でやや少なめでした。スタッフは宇高Yサ・ユース委員長、飯尾会計、森広報ブリテン委員長、私田中、リーダーOG2名の合計12名で、私は下咽頭癌を発病直前の葛川キャンプ以来の参加でした。

天気は快晴の元京都八条口を9時判過ぎにマイクロバスでイザ中津川市加子母へ出発しました。約3時間の快適なドライブで道の駅茶の里東白川に到着、食事処茶の里野菜村にて野菜定食で昼食を取りました。その日取れたての野菜と炊き込みご飯は味が新鮮で旨みが濃く、子供達も美味しくいただきました。又お手伝いの80才代のお婆さんからよもぎ餅を頂きこれも美味しく食しました(因みに私はお土産に買って帰りました)。午後は明治27年創建のかしも明治座を見学、係員さんのスライドを交えてクイズ型式の説明は子供達も大喜び、楽屋見学では18代中村勘三郎襲名公演の写真と署名を見ました。宿泊は加子母森林組合の都市農村交流会館の貸し切りで、大人は桜風呂に感激。

二日目は裏木曾古事の森へ地元3人のガイドさんと移動、この森はガイドさん無しでは入山出来ないそうです。最初に護山(もりやま)神社に参拝、天保年間、江戸幕府[第12代将軍・徳川家慶公]の命により、現在は長野県南西部から岐阜県境にかけての国有林である木曾山[美濃山]鎮護の守護神として創建されました。この日も快晴で澄んだ空気のためか空は澄んだ青、山は濃緑が映え美味しい空気を胸一杯に吸い込みました。バスで林道を登り標高800m付近まで到着、二代目大ヒノキコース約2.5kmにヘルメット装着でウォーキング開始。第62回式年遷宮裏木曾御用材伐採式跡を見学、桧と榎が密着成長して年輪が共通となり一本の幹となった合体木に驚き、森林鉄道跡の山道を楽しく散策。二代目桧で記念写真をパチリ。バス移動後高樽の瀧へ、そこで地元のお弁当と新鮮な空気ですぐ昼食を美味しく頂きました。

今回は子供達が何事にも積極的に行動してくれて全員楽しく二日間を過ごせたのが印象的でした。



関西盲導犬協会さんとユーザーさんをお招きして

榎木 徳子

令和元年9月13日(金)午後6時半から、私が勤務する京都市立病院において「盲導犬を知ろう～ユーザーに安心できる医療を届けるために～」というテーマで研修会を実施しました。院内からは医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・診療放射線技師・事務と様々な職種が、院外からは消防署職員・診療所医師など多数の参加がありました。病院や地域で、ユーザーさんが安心して気持ちよく医療を受けられる環境が整っているとは言い難い現状で、できることは何か考えるための研修でした。その中で印象に残ったことと、私が感じたことは以下のとおりです。

＜ユーザーさんから＞

- ・「私は宇宙人でもなく、特別な人間ではない」「障害者であろうが健常者であろうが、どうしようか、という話ができれば、友達になれればいい」
- もちろん配慮が必要なことはありますが、構えすぎはよくないですね。
- ・盲導犬はおもしろくて楽しい。「ドア」といえばドアに連れて行ってくれ、「エスカレーター」と言えばエスカレーターに連れていってくれる。わかりあえるとスムーズ。杖や手引き(人間による)の方がいいという

人もいる。すべての人が盲導犬を望むわけではない。また、ユーザー、犬によってしてほしいことが違う。どうしてほしいのか聞いてほしい。

→何を好み、何を望むかは人それぞれ。犬にも個性があるのですね。

- ・排泄はユーザーの指示で、早めにうながしてさせるようにしている。幼児に母親が早めにうながすのと同じ感じ。ワンツーベルトを使ってしている。

→うちもラブラドルトリバーを飼っていましたが、散歩の時しか排泄せず。困りました。さすがエリート犬！

- ・犬の名前は、ユーザー以外には原則教えないようにしている。名前を呼ばれると嬉しくて反応してしまい、ユーザーに(無駄に)叱られることになるから。

- ・犬をじっと見るのもやめてほしい。ユーザーは犬が見つめられていることが把握できない。そっちへ行ってしまうと、時によって危険なこともある。

→ついかわいくてやっつけてしまいがちですが、ユーザーさんの立場にたてば当然ですね。

＜病院の職員にお願いしたいこと＞

- ・診察室は入ることができる。

(次ページへ)

(前ページから続く)

→これは厚労省のガイドラインにも書かれています。

・「ちょっと待ってください」だけでなく、「5分待ってください」と言われると安心。また、声をかける時、「職員の〇〇です」と言われると安心する。誰に声をかけられたかわからないと不安になる。

→これは患者さんの障害にかかわらず、基本的なことですね。改めて肝に銘じます。

・非常の場合(ユーザーの意識がないなど)は、ハーネスに盲導犬としてのNoと、協会の連絡先が書いてあるので連絡を。土日夜間などは電話が通じないので、Faxでお願いしたい。

<職員からの質問>

・時間がかかる検査(MRI)の時は待てるか。

→どうしたいかはユーザーと犬によって違う。どれ

くらい時間がかかるか伝え、希望を聞いてほしい。ユーザーによっては検査の日、犬を誰かに頼むかもしれない。病院の待機は静かな場所が望ましい。

・救急車に乗る時、音に驚かないか。また、乗せる時の誘導は？

→普段の生活の中でも救急車のサイレンはしょっちゅう聞いているので驚かないと思う。ハーネスを持って「乗るよ」と言えば乗ると思う。

私がプリンスワイズメンズクラブに所属して何年かたち、協会さんともつながりができたことにより、おそらくお互いが敷居の高い、病院と協会さんをつなぐことができたものと自己満足しております。ただ、今回の研修で、まだまだ知らないことがたくさんあると感じました。こういうことの積重ねにより、少しでもお互いを知ることが大切だと思っています。



1. 台風19号・15号被災地支援 ポジティブネット

YMCA募金 受付

台風15号、19号により、広域にわたり甚大な被害が出ています。YMCAでは、被災地でのボランティアワーク等の支援、日常生活を奪われた子どもたちに寄り添い続けます。コミュニティの復興支援を目指して、全国のネットワークや特性を活かした活動を展開していきます。

以下の期間中、支援募金を受け付けております。皆様のあたたかいご支援・ご協力をお願いいたします。

受付期間：2019年10月17日(木)～2020年3月31日(火)

募金方法：京都YMCAの各階窓口にお届けいただくか、以下にご送金ください。

《郵便振替》 01050-7-19132 加入者名：京都YMCA 奉仕活動基金 ※通信欄に「豪雨災害」とお書きください。

2. スキーキャンプ・ウインター&スプリングプログラム 募集(スキー、雪あそび、アフタースクール、体操、スイミング)

(会員・会友) Web受付 10月25日(金)～

(上記以外の方) Web受付 11月 1日(金)～

(会員・一般) 電話受付 11月 8日(金)10:00～

お申込み・お問合せ：京都YMCAウエルネスセンター (TEL)075-255-4709

3. YMCA三条保育園「子育て支援企画」協賛のお願い

「相沢康夫さんと積み木で遊ぼう～積み木ライブショーを楽しむ」講師による積み木パフォーマンス、積み木や構成玩具を用いて、親子で遊びます。すでに、協賛などご協力いただきましたみなさまありがとうございます。引き続き、協賛などご協力よろしくお願いします。

日 時：2020年1月12日(日)14時～16時

場 所：京都YMCA三条本館

対 象：幼児～小学生の親子40組～50組

問合せ：保育園園長 神戸(TEL075-254-8131)

4. YMCA・YWCA合同祈祷週集会 スリランカの漁村から ～平和をつくり出す人々

スリランカからゲスト2名を招き、日本以上に多文化、多宗教のスリランカで、人々が自信をつけ貧困を克服し、立場が異なる人々の中で理解と協働を生み出そうと取り組んでいる内容などをお話しいたします。

日 時：11月30日(土)18:30～20:30

場 所：京都YMCA三条本館

参 加 費：500円(茶菓付)※30歳未満の方は無料です。

申込締切：11月16日(土)

お問い合わせ (TEL)075-231-4388 (FAX)075-251-0970

10月度 役員会報告

報告事項

- 今年も年越しそばファンドを実施予定
- 2月第一例会(TOF)をCSアワーとする
- 4月の富士山YMCAでの例会を、DBC交流例会とする。

承認された事項

- 台風19号15号の被災地支援募金としてニコニコから3万円を拠出

11月 スケジュール

- 3日(祝) 国際協力街頭募金
12:30 京都YMCA集合
- 6日(水) 第一例会
19:00 グランドプリンスホテル
- 17日(日) オータムフェスタ
11:00 リトリートセンター
- 20日(水) 第二例会
19:00 グランドプリンスホテル
- 24日(日) ののさんチャリティーゴルフ
8:00 メーブルヒルズGC
- 27日(水) 役員会
19:30 廣井事務所

11月 Happy Birthday

3日 蒔田 茂夫

編集後記

令和元年もあと2ヶ月。古希を迎えたこの頃は、月日が飛ぶように過ぎて行きます。そしてちょっぴり健康にも自信がなくなり、食べたい物、行きたい所、「また今度」ではダメかも、今の内にとする日々です。